


令和3年度全国学力学習状況調査結果概要と改善策

調査日：令和3年5月27日（木） 調査対象：第3学年生徒

< 学力調査 >

	国 語	数 学
成果が見られるところ	<ul style="list-style-type: none"> ・ 話合いの話題や方向，話し手の質問の意図を捉えること ・ 文脈に即して，漢字を正しく読むこと 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 与えられたデータから中央値を求めることができる ・ 与えられた表やグラフから，必要な情報を適切に読み取ることができる
課題が見られるところ	<ul style="list-style-type: none"> ・ 意見文の下書きを，適切な語句や表現に直したり，文章の構成を工夫して書いたりすること ・ 文章に表れているものの見方や考え方を捉えて，自分の考えをもつこと ・ 相手や場に応じて敬語を適切に使うこと 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 式で求められた結果を問題に即して解釈し，事柄の特徴を説明することができる ・ 与えられたデータの傾向を既習内容を用いて説明することができる ・ 図形の性質を見だし，数学を使って表現することができる
指導の改善策	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「書く」活動を増やします <ul style="list-style-type: none"> ・ 伝えたい事柄を適切に表現できるように，①語彙を増やす，②効果的な文章の構成を学ぶように，指導します ・ 自分の考えをもてるように，①友達と意見を交流する場面を設定する，②さまざまな考えに触れる機会を設定する（読書活動），を充実します ○ 敬語（尊敬語，謙譲語，丁寧語）について指導するとともに，日常生活で活用するように指導します 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 数に関する事象を考察する場面で，事柄が成り立つ理由について筋道を立てて考え説明する場면을授業で増やします ○ 表やグラフなどからデータの傾向を適切に読み取り，それらを基に判断の理由を説明する場면을授業で増やします ○ 図形の性質を考察する場面で，事柄が成り立つ理由を筋道を立てて考え説明する場면을授業で増やします



< 質問紙調査 >

肯定的な回答の割合が高い設問	<ul style="list-style-type: none"> ・ いじめは，どんな理由があってもいけないことだと思いますか ・ 友達と話し合うとき，友達の話や意見を最後まで聞くことができますか ・ 人の役に立つ人間になりたいと思いますか ・ 学習の中でコンピュータなどのICT機器を使うのは勉強の役に立つと思いますか ・ 国語の勉強は大切だと思いますか ・ 数学の授業で問題の解き方や考え方が分かるようにノートに書いていますか ・ 友達と協力するのは楽しいと思いますか
肯定的な回答の割合が低い設問	<ul style="list-style-type: none"> ・ これまで，学校の授業やそのための学習以外で，日常的に英語を使う機会が十分にありましたか ・ 新聞を読んでいますか ・ 今住んでいる地域の行事に参加していますか ・ 地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・ 平日に2時間以上勉強する→31.3% ・ 土日に2時間以上勉強する→35.1% ・ 平日に2時間以上テレビゲーム，携帯電話やスマートフォンを使用する→79.4%



< 学力向上に向けた今後の取組 >

- ① 「読む・聞く→考える→話す・書く」活動を教育活動全般で取り入れ，コミュニケーション能力の育成に努めます
- ② 進路の学習や放課後学習会を実施し，学習意欲を高め基礎・基本の定着に努めます
- ③ LSプランチェックシートの取組から，家庭と連携し，家庭学習・生活習慣を身に付けさせます

